

そこで、兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によって、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

2015(27)年 週 報

5月10日
第2聖日
第3403号

「パウロの務め」

聖
言

あなたがたのためにと私がいただいた、神の恵みによる私の務めについて、あなたがたはすでに聞いたことでしょう。エペソ3:2

礼拝の恵み 第二〇章
第八節 礼拝の障害
第三節 批評的精神

こうした精神からまぬがれる方法は、何よりも先ず、それが神のおん目には罪であり、憎むべきであることを、明らかにすることである。次には、謙虚に率直に自己をさばいて、それを神に告げることである。第三には二度とそうした精神を自分の生活の中にはいらせないという聖なる決心をすることである。第四に不当な誹謗に苦しめられている人を弁護することである。第五には兄弟たちのために大いに祈ることである。誹謗の対象である人のために、神が豊かに祝福を与えたもうように真剣にいのることほど、批評的精神と嫉む心とを除く方法はない。第六には兄弟たちの中に何かほめるべき事柄をさがそうと決心することである。「愛は恨みをいだかない。すべてを耐える。」(「コリント一三ノ五七七」とある。われわれはキリストの目をもってかれらを眺め、キリストのどれだけがかれらのうちに明らかであるかをみなければならぬ。第七には誹謗精神とせんさく的精神の生じる恐れのあるすべての根を自己批判の力で切ってしまうことである。信者は自分というもののうちに何があるかをつねに心をとめていなければならぬ。そうすれば、仲間の信者がこれほどの行為を持って、受け入れてくれることを主に深く感謝するようになるであろう。(「礼拝」ギブス)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一五年四月二六」日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「キリスト・イエスの囚人」

「こういうわけで、あなたがた異邦人のためにキリスト・イエスの囚人となったパウロから言います。」(エペソ三ノ一)

異邦人に福音が伝えられることは困難なことである。

なぜなら弟子の誰一人として異邦人伝道を考えたまものもない。パウロはいまだに異邦人伝道の先駆者とされているが、最初は反対に迫害者であった。その彼が変えられたのは自分の悟り出ない。一方的な神様の介入である。クリスチャンを迫害していた中心人物であつて、敵からも味方からもどちらからも恐れられていた人物である。かれは手当たりしだいクリスチャンであれば、捕まえて投獄し、死にもいたらせていた。その迫害の範囲は他国に拡大してダマスコのクリスチャンを逮捕しにいった。その途上に天から光を浴びて落馬し失明してしまつた。「主は彼に何故迫害するのか。私はあなたが迫害するナザレのイエスだとかたられました。そして、アイネヤにも主の使いがあらわれてダマスコのユダの家にいるパウロを訪ねていくようにめいじられる。アイネヤはクリスチャンを迫害する権限を祭司長からうけている人間です」といふと、しかし主は言われた。「行きなさい。あの人は私の名を異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶわたしの選びの器です。」(使徒9:15)と語られました。かつてはクリスチャン迫害者が異邦人伝道者と変えられました。それだけでなく、キリスト・イエスの囚人となりました。請願をたてる4人の信者を神殿につれていったとき、アジアからきていたユダヤ人がパウロが異邦人を神殿に入れさせたという虚偽の訴えをしてパウロは逮捕された。そしてローマに護送されました。それ以前エペソに教会を建てた。今は牢獄にいていけないが、手紙で励ましている。その中でキリスト・イエスの囚人であ

る。現実の姿であるとともに、キリスト・イエスを語ることに囚人となる。そして囚人は恥ずかしいことだが、パウロのように福音を語ることに囚人になる。いやはパウロのように囚人になつて福音を述べ伝えさせる。うらをかえせば、世の中のものもみな囚人ではないか。彼らとクリスチャンの違いは囚人は囚人であっても、彼らはこの世のサタンの力に捕らえられている哀れな状況であるが、わたしたちは囚人でも良心的自発的囚人である。今の自分の姿はイエス様の十字架の愛を人に証するため囚人のように不自由な生活をしている。それは不便であるが不幸でない。なぜなら弱さと寂しさの中に主がともにいてくださる。

二〇一五年五月六日午後七時 祈祷会 山本牧師

「イスラエルの見張り人」(エゼキエル連講五二回)

「わたしが悪者に、『悪者よ。あなたが必ず死ぬ』と言うとき、もし、あなたがその悪者にその道から離れるように語って警告しないなら、その悪者は自分の咎のために死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。あなたが、悪者にその道から立ち返るよう警告しても、彼がその道から立ち返らないなら、彼は自分の咎のために死ななければならぬ。しかし、あなたは自分のいのちを救うことになる。」(エゼキエル三三ノ八九)

預言者はまず、国の「見張り人」である。一般に「見張り人」というのは、国が外国に侵略されていないように見張りに立つ人のことである。見張り人は敵の襲来を見たならば、角笛を吹き鳴らし、その国民に警告を与える責任がある。見張り人が敵の襲来を見て警告しても、その国民が無視して滅びるなら、その責任は預

言者にな

いが、もし預言者が主から民の危機を示されながら警告しないなら、たとい民が自分自身の咎のために滅びるにしても、預言者はその背金を問われる(八)。そのように

霊的な見張り人には、民が道からそれたときに主に代わって警告する厳粛な責任がある。

一〇〇二〇節は悔い改めをしるす。ザアカイの悔い改めるを主はお喜びになられる(ルカ一九ノ一)。

新しい聖書研究について

新しく仙台バプテスト神学校の「主の弟子となる」

(信仰の基本原則)を学びます。教材は一冊千円です。

申し込みください。この学びは信者各自が自分の信仰の後継者を生む画期的な学びです。教会の今後の運命を左右するものですので期待と情熱をもって学びましょう。